

(国保世帯数 1.051世帯)

津奈木町の財政事情

津奈木町告示第59号

津奈木町財政事情の公表について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第24条の3第1項並びに津奈木町財政事情の公表に関する条例（昭和39年条例第1号）に基づき、津奈木町財政事情を次のとおり公表する。

昭和57年11月1日
津奈木町長 六車孝吉

津奈木町財政事情
1 昭和57年度財政概況
2 昭和57年度決算概況
3 昭和57年度予算概況

まえがき

昭和57年度の決算状況と本年度上半期（4月9日）予算を公表致します。町財政の健全な運営に努め、町民の生活の向上に努めます。

一般会計（9月末）

昭和57年度の一般会計予算の9月末現在の総額は、歳入歳出それぞれ1,726,150千円です。歳入では表1及び図1に示すとおり町財政の75.6%を地方交付税や国庫支出金等に依存している現状であり、自主財源は24.4%となります。歳出では、庁舎建設基金に5,400千円を計上し、9月末現在で同基金は15,278千円となります。又、投資的経費において、農林水産総合振興事業（5,050千円）、矢張林道（2,217千円）、林業構造改善事業（4,968千円）、総合運動公園整備（児童公園）（2,463千円）、農用地利用増進特別対策事業（はちまき整備）（9,650千円）、福浜漁港海岸保全事業3,600千円、町道馬米線改良（2,900千円）、町道久子線改良（2,800千円）があり、乏しい財政の中で住民環境整備に多大の投資を行っています。

表1. 歳入

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
町税	169,257	9.8	国庫支出金	196,806	11.4
地方譲与税	16,000	0.9	財政収入	56,409	3.3
自動車取得税交付金	12,000	0.7	寄附金	2,997	0.2
地方交付税	716,786	41.5	繰入金	110,171	6.4
交通安全対策交付金	1	0.0	繰越金	5,794	0.3
分担金及び負担金	48,842	2.8	諸収入	13,638	0.8
使用料及び手数料	13,356	0.8	債権	159,900	9.2
国庫支出金	204,693	11.9	歳入合計	1,726,150	100.0

表2. 歳出

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
議会費	45,990	2.7	消防費	64,607	3.7
総務費	281,612	16.3	教育費	182,707	10.6
民生費	204,156	11.8	災害復旧費	903	0.1
衛生費	79,505	4.6	公債費	198,800	11.5
農林水産費	474,374	27.5	諸支出金	4,361	0.3
商工費	5,409	0.3	予備費	2,000	0.1
土木費	181,726	10.5	歳出合計	1,726,150	100.0

表3. 住民の負担状況

課目	57年度分
町民税	67,175
固定資産税	78,491
軽自動車税	3,407
たばこ消費税	16,195
電気及びガス税	7,275
その他	2,638
合計	175,181

表4. 公有財産の状況

区分	土地	建物（延面積㎡）
行	本庁舎 932	993
政	公民館 598	608
財	学舎 63,154	989
産	幼稚園 1,471	479
	保育園 3,166	560
	公営住宅 4,487	720
	果樹指導所 13,253	116
	消防施設 49	45
	その他 153,450	1,905
普通財産	383,160	1,961
その他	282,099	
合計	3,854,259	5,480

簡易水道事業特別会計

表9. 歳入

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
簡易水道収入	16,186	42.9	繰入金	1,982	5.2
分担金及び負担金	730	1.9	寄附金	1	0.0
国庫支出金	1	0.0	町債	1	0.0
県支出金	1	0.0	歳入合計	37,762	100.0
繰入金	18,542	49.1			

表10. 歳出

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
総務費	2,363	6.3	予備費	100	0.2
簡易水道事業費	17,023	45.1	歳出合計	37,762	100.0
公債費	18,276	48.4			

国民健康保険事業特別会計

表11. 歳入

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
国民健康保険税	105,600	24.8	繰入金	2,250	5.3
使用料及び手数料	4	0.0	繰越金	5,000	1.2
国庫支出金	268,896	63.0	諸収入	21,007	4.9
県支出金	1	0.0	歳入合計	426,399	100.0
財産収入	3,841	0.8			

表12. 歳出

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
総務費	19,990	4.7	諸支出金	17	0.0
保険給付費	391,171	91.7	予備費	11,579	2.7
基金積立金	3,841	0.8	歳出合計	426,399	100.0
公債費	301	0.1			

表13

区分	歳入	歳出
農作物共済勘定	6,250	6,250
蚕業共済勘定	11	11
家畜共済勘定	1,742	1,742
園芸施設共済勘定	422	422
業務勘定	13,646	13,646
合計	22,071	22,071

農業共済事業特別会計

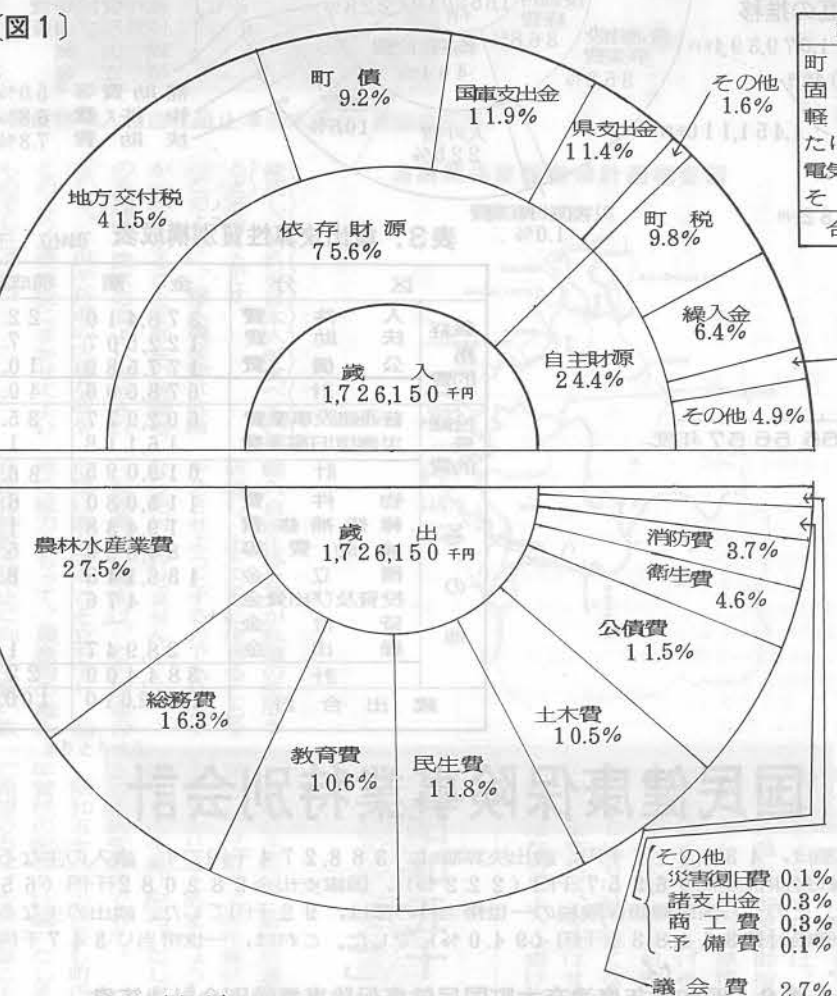


表5. 山林（立木）

土地の権利の区分	面積（㎡）	立木の総量（㎡）
直営林	3,136,350	38,749
分収林	195,250	3,582
官収林	0	0
合計	3,331,600	37,331

表6. 基金

区分	金額（円）	区分	金額（円）
財政調整基金（一般）	120,789	土地開発基金	7,224
（水道）	5,400	国民年金保険料基金	2,500
診療費支払基金（国保）	96,161	奨学基金	11,050
退職手当基金	9,229	合計	405,069
庁舎建設基金	152,789		

表7. 有価証券

区分	金額（円）
株	145,000
社債券	1,150,000
合計	1,295,000

表8. 出資による権利

区分	金額（円）
出資金	2,275,000
出捐金	2,787,000
合計	5,062,000

※表4.5.78については、昭和57年8月31日現在です。

楽しかったスポーツの祭典



町民体育祭陸上競技大会
去る十月十日（日）朝に健脚を競い合い、終日歓声とさわやかな秋晴れのもとに、町民体育祭陸上競技大会が、町民体育会館で盛大に開催された。町民体育会館が、町民体育祭の中心として、今年度の体育祭を盛り上げた。町民体育会館が、町民体育祭の中心として、今年度の体育祭を盛り上げた。町民体育会館が、町民体育祭の中心として、今年度の体育祭を盛り上げた。

交通安全

標語決まる

竹中 本山スタンドの上に、大型の交通安全標語が建てられます。この標語は、交通安全の啓蒙を目的として、多数の方から応募があり、選考の結果、次の方の標語が優秀と選ばれました。

シートベルト着用調査

県下の市町村で、職員が先ずシートベルトを着用する様に、県警本部長が要請があった。警察では、本町では、シートベルトの着用率を調査し、一〇〇%の着用率をあげたい。又、町内の大きな事業所に対し、九月三日、九月十日、九月十七日の三回、シートベルトの着用率を調査し、一〇〇%の着用率をあげたい。又、町内の大きな事業所に対し、九月三日、九月十日、九月十七日の三回、シートベルトの着用率を調査し、一〇〇%の着用率をあげたい。

ヘルメットと昼間点灯

県警本部が、ヘルメットと昼間点灯の着用を要請した。ヘルメットは、交通事故の防止に有効であり、昼間点灯は、視認性を高める効果がある。町民は、ヘルメットと昼間点灯の着用を心がけ、交通安全に貢献してほしい。

乳幼児検診

乳幼児検診は、乳幼児の健康状態を確認し、適切な指導を行うための検診である。町民は、乳幼児の検診を受け、子供の健康を確保してほしい。

インフルエンザ予防接種

インフルエンザ予防接種は、インフルエンザの感染を予防するための接種である。町民は、インフルエンザの予防接種を受け、感染を予防してほしい。

犬の登録と狂犬病予防注射

犬の登録と狂犬病予防注射は、犬の健康を確保し、狂犬病の予防を行うための措置である。町民は、犬の登録と狂犬病予防注射を受け、犬の健康を確保してほしい。

危険物取扱者試験の実施

危険物取扱者試験は、危険物の取り扱いに関する知識と技術を評価するための試験である。町民は、危険物取扱者試験を受け、危険物の取り扱いに関する知識と技術を習得してほしい。

郵便局より

郵便局より、お年玉つき年賀はがきの発売が開始されました。お年玉つき年賀はがきは、お年玉の金額が印刷されているはがきで、お年玉の金額が印刷されているはがきです。

電々公社より

電々公社より、お年玉つき年賀はがきの発売が開始されました。お年玉つき年賀はがきは、お年玉の金額が印刷されているはがきで、お年玉の金額が印刷されているはがきです。

法務大臣表彰

法務大臣表彰は、法務省から表彰される表彰である。町民は、法務大臣表彰を受け、法務省から表彰される表彰である。